

射水市中教研 研究計画

会 長 高 信 智 加 子

会 員 数 168名 (2名)

1 本年度研究の基本方針

(1) 研究主題

「生きる力」を育むことをねらいとして、各教科、特別の教科道徳、特別活動等の特質を踏まえ、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を重視した上で、思考力、判断力、表現力等の育成を図るとともに、個性を生かし主体的に課題を追究し、これからの社会の創り手となる生徒を育てる教育活動の在り方を研究する。

(2) 研究主題について

学習指導要領には、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かして多様な人々との協働を促す教育の充実に努め、生徒に生きる力を育むことが記されている。

そこで、「生きる力」を育むことをねらいとし、個性を生かし主体的に課題を追究する力の育成だけでなく、「基礎的・基本的な知識及び技能の習得を重視した上で、思考力、判断力、表現力等の育成を図り、学びをこれからの人生や社会に生かし持続可能な社会の創り手を育む」という内容も明記し、教育活動の在り方について研究を進めることとする。

(3) 研究主題説明の方針

主題の解明を図るために、「研究主題と研究内容」(P)、「授業研究と研究発表」(D)、「学力調査等」(S)のトライアングルの関係を重視し、研究を推進する。

- ① 指導内容を小・中・高等学校一貫の立場から見直し、相互の関連を図りながら系統的・発展的な指導に努める。
- ② 基礎的・基本的な知識及び技能が確実に身に付くよう、個に応じた指導の充実に努める指導計画、指導方法や指導体制の工夫・改善に努める。
- ③ 生徒の自主的・自発的な学習活動を促し、考えを深め合い、思考力、判断力、表現力等を育成するとともに、学び方が身に付く指導計画、指導方法の改善に努める。
- ④ 指導計画や指導方法の改善に生かすために、学習の過程や成果を評価規準に基づいて評価し、指導と評価の一体化に努める。
- ⑤ 特別の教科道徳については、自分の考えを表現し、深め合う授業展開を工夫しながら、計画的、発展的な授業を行う。
- ⑥ 研究の成果を振り返り、日常の教育実践に生かすことができる研究の継続と累積に努める。

2 部会構成と研究主題

番号	部会名	部員数	研 究 主 題
1	国 語	15	言葉による見方・考え方を働かせ、思考・判断・表現する言語活動を通して国語の資質・能力を育成するための指導はどうあればよいか。 －言葉に対する自覚を高める言語活動の工夫－
2	社 会	16	社会的な見方・考え方を働かせ、社会的事象を主体的に追究する生徒を育てるにはどのようにすればよいか。 －教材開発や学習活動の工夫と指導と評価の一体化－
3	数 学	17	数学的に考える資質・能力を育成するために、学習の成果を的確に捉え、指導の改善を図るとともに、生徒自身が自らの学習を振り返って、次の学習に向かうための指導と評価はどうあればよいか。 －内容や時間のまとまりを見通した目標・評価規準を生かした指導と評価の工夫－
4	理 科	18	理科の見方・考え方を働かせ、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成するにはどうすればよいか。 －自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探求しようとする態度を養うための指導の工夫－
5	音 楽	8	幅広い音楽活動を通して、「音楽的な見方・考え方」を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するにはどうすればよいか。 －「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善－
6	美 術	7	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための学習指導はどうあればよいか。 －美術科の特質や学習過程を踏まえた ICT の効果的な活用－

番号	部会名	部員数	研 究 主 題
7	保 体	18	心と体を一体として捉え、生涯にわたって運動に親しみ、明るく豊かな生活を営む態度を育てる学習指導はどうあればよいか。 (体育分野) 身に付けた知識や技能を基に、その段階に応じた運動を豊かに実践していくための指導過程はどうあればよいか。 (保健分野) 自らの健康を管理し、改善しようとする実践力を育てるための指導過程はどうあればよいか。
8	技・家 (技術)	4	「いきてはたらく力」につながる技術・家庭科の教育の推進 -生活にいかすための問題解決的な学習の充実-
9	技・家 (家庭)	4	「いきてはたらく力」につながる技術・家庭科の教育の推進 -生活にいかすための問題解決的な学習の充実-
10	英 語	23	コミュニケーション能力の基礎を養うにはどのように指導したらよいか。 -聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して-
11	道 徳	7	主として人との関わりに関する道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める道徳科の授業はどうあればよいか。 -道徳的諸価値の理解を基に、道徳的な考えを深め話し合いの場の工夫-
12	特 活	7	学級活動を通して身に付けるべき資質・能力を育成するための指導はどうあればよいか。 -生徒が主体的に参加し、合意形成や意思決定を目指す話し合い活動を通して-
13	特別支援 教 育	18 (2)	特別な支援を必要とする生徒の個性や能力を伸ばし、自立と社会参加を推進する指導はどうあればよいか。 -生徒の教育的ニーズに応じた学習過程の工夫-
14	保 健	6	生涯にわたって、主体的に心身の健康づくりに取り組み、健康で安全な生活を営む資質・能力を育てる健康教育はどうすればよいか。 -生徒が心身の健康について理解を深め、主体的に健康な生活を実践するための指導の工夫-

3 年間計画の概要

月	会合名	会 場	内 容
4	理 事 会	小杉南中学校	令和3年度会務・会計報告 令和4年度役員・事業・予算等について
4	評 議 員 会 全 体 研 修 会 (部長会、教科・領域等部会)	各 中 学 校	令和3年度会務・会計報告 令和4年度役員・事業・予算等の審議、承認 部会役員選出、部会別研究計画作成
6	教科部会・領域等部会	各 会 場	授業研究及び研究協議、指導案の検討
9	教科部会・領域等部会	各 会 場	授業研究及び研究協議、西部地区大会資料等の検討
10	西 部 地 区 大 会	各 会 場	授業研究、研究発表と協議等 社会 (小杉中) 理科 (小杉南中) 美術 (新湊中) 技術 (大門中) 英語 (新湊南部中)
1	理 事 会	小杉南中学校	収支決算、令和5年度研究計画について
1	評 議 員 会 全 体 研 修 会 (部長会、研究大会、 教科・領域等部会)	各 会 場	収支決算等中間報告、令和5年度研究計画 (案) 部会のまとめ

4 留意事項

- (1) 各部会を中心に、主題を設定し、各部会の実態に応じて研究の内容と視点、研究の方法等を決定し、各学校の実践に基盤を置きながら研究を進める。
- (2) 研究授業に重点をおき、少なくとも1回は指導講師を招いて実施し、充実した研究活動を推進する。
- (3) 日々の授業実践においては、「射水スタンダード」等を意識した授業を展開し、セルフチェックを行い、授業改善に役立てる。
- (4) 授業についての研究協議は、「授業研究協議会ステージアップ (発言の高まり)」を意識し、授業改善のための研究協議を充実させる。